

非公知の潜在課題をサイテキ技術※で解決し、排他的知財を取る！

技術戦略策定実践講座

～ 「技術の目利き」による技術戦略策定 ～

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日 時 ▶ 2019年 11月15日(金) 13:00～17:00

会 場 ▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

《開催にあたって》

あなたの会社は「会社として何をを目指していくかが分からない」という状態ではないだろうか？現行事業はあるが、研究開発で自律的内部成長を実現できていない会社は多い。その原因は技術戦略の機能不全だ。顧客要望を一覧化して優先順位付けをしたものは技術戦略ではない。本セミナーでは、技術戦略策定をリードする技術企業幹部のための実践講座である。幹部社員による競争優位の作り方を解説する。

講 師 高収益企業支援家・弁理士 中村大介氏(株式会社如水 代表取締役)

講師紹介
非公知の潜在課題を、サイテキ技術で解決し、排他性の高い知財を取る研究開発・知財の仕組みづくりの専門家。NEC退職後にベンチャー企業を設立。高粗利ビジネスを実現したものの、他社に事業が模倣されて経営者としての浮沈を経験する。その経験から弁理士に。クライアント企業の技術部門、営業部門、知財部門でワーキンググループを結成し、技術戦略策定、研究テーマ創出、技術マーケティング体制構築、IP ランドスケープ体制構築などを検討する。粗利90%の高収益事業を輩出するなど、高収益化を図る手法には定評がある。専門は技術企業の高収益化。弁理士、北大卒、東大院了。日経テクノロジーでコラム連載中「高収益技術経営」



《申込方法》当会ホームページ(https://www.bri.or.jp)からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送頂いたく際は、ご使用のFAX機の使用法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正 会 員	35,200円(本体価格 32,000円)	一 般	38,500円(本体価格 35,000円)
-------	-----------------------	-----	-----------------------

191766-1010 技術戦略策定実践講座			
ふりがな 会社名			
住 所	〒		
TEL		FAX	
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前まで)に受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 セミナー事業グループ 担当/民秋 E-mail: tamiaki@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 MFPR 麹町ビル 2F

※サイテキ技術…課題解決に最も効率的な技術

・プログラム・

1. 成熟ものづくり企業に必須の技術戦略

- (1) 技術戦略とは何か/何故必要か/テーマがあっても/テーマと事業化
- (2) 失敗例/顧客要望を一覧化しても/対応する技術に特徴は/差異化は
- (3) 失敗例/自社技術の延長線には/付加軸がない/軸がマーケットに
- (4) 技術の棚卸しは無駄/コア技術がない場合の対応/それでもコア技術戦略
- (5) 技術戦略の必須条件/3つ基本戦略を実践する技術戦略

2. 成熟ものづくり企業の技術戦略の方向性

- (1) 重要な要件/文書でなく活動/良い状態を常態にする
- (2) 要件を満足させるために/技術戦略三種の神器/コア技術とアカデミア
- (3) プロセスと体制/要件からプロセス/プロセスから体制
- (4) 技術戦略3つのレベル/資源配分戦略/事業・技術戦略/商品戦略

3. 技術戦略策定方法

- (1) 技術戦略立案体制/良い状態の常態化のために/ノウハウ継承
- (2) ロードマップ形式/ロードマップの必須要素/必須要素の充足のために
- (3) 調査活動/マクロトレンド/PEST/業界動向/知財情報
- (4) 技術戦略の成果/ステークホルダとの握り/資源配分
- (5) 未来予想情報活用/ソース/重要なのは/コア技術とすり合わせる
- (6) 知財情報活用/用途調査/競合動向調査
- (7) 仮説思考/技術プラットフォーム化仮説/仮説のための正しい問い
- (8) 技術戦略3つの失敗/形式のみ/綺麗な説明/ロジック破綻

4. 技術戦略人材「技術の目利き」を育成する

- (1) 技術の目利き/技術マーケッター/技術者/知財/4者の連携プレー
- (2) 育成方法/技術戦略策定による/研修/実施演習/計画好きな経営者こそ
- (3) ノウハウ伝承の設計/伝承にかけるべきもの/技術の目利きの役割

5. まとめ

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合があります。

裏面もご覧下さい！ 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。